

【国語・中 1・話題や展開を捉えて話し合おう

グループ・ディスカッションをする】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 意見と根拠など、情報と情報との関係について理解することができる。 (2)ア
(思・判・表) 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめることができる。 Aオ
(学びに向かう力等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。

ICT活用のポイント

自分の話し合いの様子を客観的に見たり、蓄積した話し合いの様子を振り返ったりすることで主体的な学びにつなげる

【つかむ】

試しのグループ・ディスカッションを行い、学習の見通しをもつ。

話題や展開を捉えてグループ・ディスカッションをしよう。

【追究する】

・話し合いの仕方を学び、テーマに対する自分の考えをもつ。

・話し合いの役割や前時の課題を意識しながら、グループで話し合う。

【まとめる】

グループごとの報告会を行い、学習を振り返る。

事例の概要

・自分の話し合いの様子を動画撮影し、撮影した動画を見ながら自分の話し合いの良い点や課題を考え、次の話し合いに生かす。

- 前時の振り返りをもとに本時の話し合いの個人目標を考えて学習カードに記入する。(学習支援ソフト)
- タブレットで自分の様子を撮影しながら、各自の目標を意識してグループで話し合いを行う。(動画撮影機能)
- 撮影した動画を見ながら振り返り、自分の話し合いの良かった点や課題を考え、学習カードに記入する。(学習支援ソフト)
- 同じ役割(司会、発表者)で話し合いに参加した生徒同士で、良かった点・課題について交流する。
- 本時の振り返りを学習カードに記入し、共有する。(学習支援ソフト)

【国語・中1・話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする】②

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト・動画撮影機能

【事例におけるICT活用の場面①】

振り返り
前回より充実した話し合いにできた。他の班の人と話し合ったら、相手の意見を尊重して言えなかったという反省があり、自分もできていなかったかもしれないと気づいた。

話し合いの動画
00:00/05:00 [24MB]

個人の目標
☑️ 展開を捉え、疑問をもったら質問したり賛成反対を伝えたりしたい

発表者
☑️ 意見とともに根拠も述べる。
☑️ 展開を捉えて発言する。
☑️ 自分の立場をはっきりさせて発言する。

めあて
展開を捉えながら話し合いをしよう。

できたこと
相手の意見に対して様々な疑問、賛成反を伝えることができた、目標を達成できた、また、新たな意見とも出せた

できなかったこと
意見をまとめてから発言できなかった

○学習支援ソフトで作成した学習カードの活用

話し合いに向けての個人目標、話し合いの良かった点・課題、本時の振り返りを記入する。

- ・学習カードを蓄積することで、前時の課題や振り返りを生かして本時の目標を考えることができた。
- ・生徒の学習カードを共有することで、新たな気づきや学習の深まりにつなげることができた。



【事例におけるICT活用の場面②】



- ・前の人と比べて自分の意見を言えた。
- ・それぞれの意見に対して、問題点や良い点を見つけることができた。
- ・話を広げることができなかった。
- ・平等に発言させられなかったので、指名して全員から意見を聞いていきたい。

○自分の話し合いの様子の動画撮影

個人のタブレットで話し合いの様子を撮影し、動画を見ながら振り返る。

- ・動画撮影をすることで、目標をより意識して話し合いに参加することができた。
- ・自分の話し合う様子を客観的に見ることで、良かった点や課題に気づきやすくなった。
- ・自分で自分の話し合いの様子を振り返ることで、主体的に取り組むことができた。
- ・動画の中の見たい部分や気になった部分を繰り返し見ることができ、じっくり振り返ることができた。

☆視点をもって振り返る

- ・個人目標が達成できているか。
- ・話し合いにおける役割(司会・発表者)が果たせたか。など